



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月1日

上場会社名 アステラス製薬株式会社
 コード番号 4503
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名） 畑中 好彦
 問合せ先責任者（役職名）広報部長（氏名） 河村 真
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： ☒ 有 ・ 無
 四半期決算説明会開催の有無： ☒ 有 ・ 無（証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け）

上場取引所 東証一部
 U R L <http://www.astellas.com/jp/>

T E L (03)3244-3201

配当支払開始予定日 —

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四 半 期 純 利 益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
26年3月期第1四半期	275,848	13.4	38,542	△27.1	37,404	△32.9	22,121	△37.7
25年3月期第1四半期	243,232	△3.3	52,891	8.4	55,735	10.7	35,489	41.1

（注）包括利益 26年3月期第1四半期 56,452百万円（－％） 25年3月期第1四半期 △4,094百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	49 03	48 95
25年3月期第1四半期	76 83	76 74

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率
	百万円	百万円	％
26年3月期第1四半期	1,471,067	1,089,288	73.9
25年3月期	1,445,561	1,062,025	73.3

（参考）自己資本 26年3月期第1四半期 1,087,298百万円 25年3月期 1,060,089百万円

2. 配当の状況

	年 間 配 当 金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	65 00	—	65 00	130 00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期（予想）	—	65 00	—	70 00	135 00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有 ・ ☒ 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当 期 純 利 益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	567,000	18.9	83,000	△6.1	83,000	△8.1	52,000	△9.4	115 25
通 期	1,170,000	16.3	170,000	10.5	170,000	8.2	110,000	32.8	243 79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有 ・ ☒ 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 有・☐無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： ☒有・無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： | 有・ ☐ 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更： | 有・ ☐ 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更： | 有・ ☐ 無 |
| ④ 修正再表示： | 有・ ☐ 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- | | | | |
|---------------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | | | |
| 26年3月期第1四半期 | 456,964,635株 | 25年3月期 | 467,964,635株 |
| ② 期末自己株式数 | | | |
| 26年3月期第1四半期 | 5,763,231株 | 25年3月期 | 16,788,579株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | | | |
| 26年3月期第1四半期 | 451,192,160株 | 25年3月期第1四半期 | 461,920,390株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信とあわせて開示しています。

また、平成25年8月1日（木）に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けにカンファレンス・コールを開催する予定です。このカンファレンス・コールの音声については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 7
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 7
3. 四半期連結財務諸表	P. 8
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 9
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期(2013年4月1日から6月30日)の連結業績は、以下の通り売上高は増収、営業利益、経常利益、四半期純利益は減益となりました。

[連結業績]

(単位：百万円、端数切捨て)

	前年第1四半期 (2013年3月期)	当第1四半期 (2014年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	243,232	275,848	32,615 (13.4%)
営業利益	52,891	38,542	△14,349 (△27.1%)
経常利益	55,735	37,404	△18,331 (△32.9%)
四半期純利益	35,489	22,121	△13,368 (△37.7%)

(注) 包括利益 当第1四半期 56,452百万円 (対前年同期増減率 - %)
前年第1四半期 △4,094百万円

<研究開発費>

(単位：百万円、端数切捨て)

	前年第1四半期	当第1四半期	増減
研究開発費	42,863	52,055	9,192

<為替レート>

期中平均レート	前年第1四半期	当第1四半期	変動
円/米ドル	80円	99円	19円安
円/ユーロ	103円	129円	26円安

期首・期末の変動	前年第1四半期	当第1四半期
円/米ドル	3円高	5円安
円/ユーロ	11円高	8円安

【為替の業績への影響】

当第1四半期の為替レートは、上表の通りです。これらの結果、売上高においては283億円の増収、営業利益においては6億円の減益の影響がありました。なお、当第1四半期末にかけて為替相場が円安方向に変動したことから、グループ間取引の中で海外子会社が保有する外貨建たな卸資産に係る未実現利益の消去による影響額が、円貨換算後の

連結財務諸表における売上総利益を押し下げる結果となりました。一方、前年同期においては、前第1四半期末における為替相場は円高方向に変動しており、未実現利益の消去による影響額は売上総利益を押し上げる結果でした。このため、為替の業績への影響としては、売上高に対しては増収の影響となったものの、営業利益に対しては減益の影響となりました。

【売上高】

連結売上高は2,758億円（前年同期比13.4%増）となりました。

- ・ 新製品の前立腺がん治療剤 **XTANDI**、過活動膀胱治療剤 **ベタニス／ミラベトリック／ベットミガ**などが売上増加に寄与しました。また、過活動膀胱治療剤 **ベシケア**などが引き続き伸長しました。このほか、免疫抑制剤 **プログラフ**、前立腺肥大症の排尿障害改善剤 **ハルナール**は、為替の影響などもあり売上が拡大しました。

（地域別売上高の状況）

※地域別売上高については売上元会社の所在地を元に集計しています。

◇ 日本

日本の売上高は1,303億円（同5.4%減）となりました。このうち、国内市場での売上高は1,266億円（同5.5%減）となりました。ベタニスなどの売上が拡大する一方で、後発医薬品の影響などにより、前年同期に比べ減収となりました。

- ・ ベタニスのほか、高血圧症治療剤 **ミカルディス**（配合剤の **ミコンビ** 及び **ミカムロ** を含む）、消炎鎮痛剤 **セレコックス**、成人気管支喘息治療剤 **シムビコート**、骨粗鬆症治療剤 **ボノテオ**などが伸長しました。また、2012年10月に発売した四種混合ワクチン **クアトロバック**が売上に寄与しました。
- ・ 高コレステロール血症治療剤 **リピトール** や統合失調症治療剤 **セロクエル**、入眠剤 **マイスリー**、消化性潰瘍・胃炎治療剤 **ガスター**などの売上は、後発医薬品の影響などにより減少しました。
- ・ なお、2013年5月に高血圧症治療剤 **ミカムロ BP**（配合剤）、同年6月に機能性ディスペプシア治療剤 **アコファイド**をそれぞれ発売しました。

◇ 海外

米州の売上高は690億円（同48.4%増）となりました。なお、現地通貨ベースでの売上高は、698百万ドル（同20.5%増）となりました。

- ・ 米国において2012年9月に発売した **XTANDI**、同年10月に発売した **ミラベトリック**が売上増加に寄与しました。
- ・ また、**ベシケア**、心機能検査補助剤 **レキスキャン**が伸長したほか、抗がん剤 **タルセバ**の収入が増加しました。
- ・ **プログラフ**は、後発医薬品の影響などにより売上が減少しました。

欧州*の売上高は625億円（同27.4%増）となりました。なお、現地通貨ベースでの売上高は485百万ユーロ（同1.7%増）となりました。

* 欧州地域のほか、中近東・アフリカの売が含まれます。

- ・ ベシケア、キャンディン系抗真菌剤マイカミンが伸長しました。また、プログラフ、ハルナールの自社販売による売上は為替の影響などもあり増加しました。
- ・ なお、2013年7月に英国において XTANDI の販売を開始しました。

アジア*の売上高は139億円（同40.5%増）となりました。

*アジア地域のほか、オセアニアの売上が含まれます。

- ・ プログラフ、ハルナール、ベシケアなどの売上が拡大し、増収となりました。

【営業利益】

連結営業利益は385億円（同27.1%減）となりました。

- ・ 売上高の増加に伴い、売上総利益は前年同期に比べ11.4%増加し、1,892億円となりました。しかしながら、売上原価率が、グループ間取引における未実現利益消去に伴う為替の影響などにより、前年同期に比べ1.2ポイント上昇し、31.4%となったことから、売上総利益の増加率は、売上高の増加率（13.4%）を2ポイント下回る結果となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費合計は為替の影響もあり、1,506億円（同28.9%増）となりました。
- ・ このうち、研究開発費は、為替の影響に加え、導入一時金の増加などもあり、520億円（同21.4%増）となりました。対売上高研究開発費比率は、前年同期に比べ1.2ポイント上昇し、18.9%となりました。
- ・ また、研究開発費を除く販売費及び一般管理費は、為替の影響に加え、米国での XTANDI の共同販促費用を含む欧米がんビジネス関連費用の増加などもあり、前年同期に比べ33.2%増加し、986億円となりました。

【経常利益】

連結経常利益は374億円（同32.9%減）となりました。

- ・ 為替差益17億円を計上した前年同期に対し、当第1四半期は為替差損17億円を計上したことなどから、営業外収益が22億円減少し、営業外費用が16億円増加しました。

【四半期純利益】

連結四半期純利益は221億円（同37.7%減）となりました。

- ・ 研究体制の再編に関する事業再編費用46億円など、特別損失として、69億円を計上しました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の連結貸借対照表の概要及び前期末からの主な変動は以下の通りです。

【資産】

当第1四半期末（2013年6月30日時点）における総資産は1兆4,710億円（前期末比255億円増）となりました。

＜流動資産＞当第1四半期末：8,460億円（同188億円増）

・有価証券が69億円、たな卸資産が104億円増加しました。

＜固定資産＞当第1四半期末：6,249億円（同66億円増）

・有形固定資産は2,181億円（同3億円減）となりました。

・無形固定資産は2,992億円（同44億円増）となりました。

【負債】

負債の合計は、3,817億円（同17億円減）となりました。

＜流動負債＞当第1四半期末：3,171億円（同36億円増）

＜固定負債＞当第1四半期末：646億円（同53億円減）

【純資産】

純資産は、1兆892億円（同272億円増）となり、自己資本比率は73.9%となりました。

・四半期純利益221億円を計上した一方で、剰余金の配当293億円を実施しました。

・2013年5月31日に自己株式の消却473億円（1,100万株）を実施しました。

・なお、為替換算調整勘定が純資産の増加方向に316億円変動しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期（2014年3月期）の第2四半期連結累計期間業績予想及び通期連結業績予想は以下の通りであり、2013年5月発表時点からの変更はありません。

[第2四半期連結累計期間業績予想] (単位：百万円、端数切捨て)

	2013年3月期 第2四半期実績	2014年3月期 第2四半期予想	増減額 (増減率)
売上高	476,833	567,000	90,166 (18.9%)
営業利益	88,389	83,000	△5,389 (△6.1%)
経常利益	90,332	83,000	△7,332 (△8.1%)
四半期純利益	57,405	52,000	△5,405 (△9.4%)

[通期連結業績予想] (単位：百万円、端数切捨て)

	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期予想	増減額 (増減率)
売上高	1,005,611	1,170,000	164,388 (16.3%)
営業利益	153,867	170,000	16,132 (10.5%)
経常利益	157,156	170,000	12,843 (8.2%)
当期純利益	82,851	110,000	27,148 (32.8%)

(注1) 2014年3月期 通期の想定為替レート：100円/米ドル、130円/ユーロ

2013年3月期 通期の為替レート（実績）：83円/米ドル、107円/ユーロ

2013年3月期 第2四半期の為替レート（実績）：79円/米ドル、101円/ユーロ

(注2) 当社は、2014年3月期決算より国際会計基準（IFRS）を任意適用する予定ですが、2014年3月期の第2四半期連結累計期間業績予想及び通期連結業績予想は引き続き日本基準に基づき作成しています。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の法人税等の負担率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該負担率を乗じて計算しています。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年 6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	233,814	234,565
受取手形及び売掛金	286,068	285,621
有価証券	78,862	85,770
たな卸資産	128,180	138,677
その他	102,190	103,515
貸倒引当金	△1,926	△2,074
流動資産合計	827,189	846,077
固定資産		
有形固定資産	218,478	218,139
無形固定資産		
のれん	95,977	99,110
特許権	138,069	140,495
その他	60,793	59,653
無形固定資産合計	294,841	299,259
投資その他の資産		
投資有価証券	61,646	64,893
その他	43,427	42,702
貸倒引当金	△22	△3
投資その他の資産合計	105,051	107,592
固定資産合計	618,371	624,990
資産合計	1,445,561	1,471,067
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	102,834	106,638
引当金	4,474	4,148
その他	206,226	206,367
流動負債合計	313,536	317,154
固定負債		
退職給付引当金	18,273	18,193
その他	51,726	46,431
固定負債合計	69,999	64,624
負債合計	383,535	381,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	103,000	103,000
資本剰余金	176,821	176,821
利益剰余金	917,511	862,920
自己株式	△72,284	△24,815
株主資本合計	1,125,048	1,117,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,966	18,614
為替換算調整勘定	△80,925	△49,242
その他の包括利益累計額合計	△64,959	△30,628
新株予約権	1,936	1,989
純資産合計	1,062,025	1,089,288
負債純資産合計	1,445,561	1,471,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	243,232	275,848
売上原価	73,435	86,625
売上総利益	169,797	189,222
販売費及び一般管理費	116,905	150,680
営業利益	52,891	38,542
営業外収益		
受取利息	302	182
受取配当金	518	409
持分法による投資利益	28	—
為替差益	1,792	—
その他	375	137
営業外収益合計	3,017	728
営業外費用		
持分法による投資損失	—	3
為替差損	—	1,738
その他	172	124
営業外費用合計	172	1,866
経常利益	55,735	37,404
特別利益		
固定資産売却益	173	11
投資有価証券売却益	98	20
その他	15	2
特別利益合計	286	35
特別損失		
固定資産除売却損	201	163
減損損失	7,022	1,493
事業再編費用	—	4,660
その他	1,103	626
特別損失合計	8,327	6,944
税金等調整前四半期純利益	47,695	30,495
法人税等	12,206	8,374
少数株主損益調整前四半期純利益	35,489	22,121
四半期純利益	35,489	22,121

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	35,489	22,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	2,648
為替換算調整勘定	△39,547	31,683
その他の包括利益合計	△39,583	34,331
四半期包括利益	△4,094	56,452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,094	56,452
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

2014年3月期第1四半期決算 補足情報

【業績情報】

1. 連結損益の詳細
2. 地域別売上高・営業利益
3. 為替レートの状況
4. 研究開発費の状況
5. 減価償却費の状況
6. 主要製品の売上高
7. 連結貸借対照表

【開発品情報】

新薬開発状況

1. 連結損益の詳細

(億円)				
	13/3期 1Q	14/3期 1Q	増減	増減率
売上高	2,432	2,758	326	13.4%
売上原価	734	866	131	18.0%
(売上高比率)	30.2%	31.4%		
売上総利益	1,697	1,892	194	11.4%
販売費・一般管理費	1,169	1,506	337	28.9%
(売上高比率)	48.1%	54.6%		
研究開発費	428	520	91	21.4%
研究開発費を除く販売費・一般管理費	740	986	245	33.2%
内、広告費・販売促進費	159	256	96	60.6%
内、人件費	334	400	66	19.8%
内、その他費用	246	329	82	33.6%
営業利益	528	385	-143	-27.1%
(売上高比率)	21.7%	14.0%		
営業外収益	30	7	-22	-75.8%
内、為替差益	17	-	-17	-
営業外費用	1	18	16	980.2%
内、為替差損	-	17	17	-
経常利益	557	374	-183	-32.9%
(売上高比率)	22.9%	13.6%		
特別利益	2	0	-2	-87.8%
内、固定資産売却益	1	0	-1	-93.4%
内、投資有価証券売却益	0	0	0	-78.9%
特別損失	83	69	-13	-16.6%
内、固定資産除売却損	2	1	-0	-18.9%
内、減損損失	70	14	-55	-78.7%
内、事業再編費用	-	46	46	-
税金等調整前当期純利益 (税金等調整前四半期純利益)	476	304	-172	-36.1%
法人税等	122	83	-38	-31.4%
当期純利益 (四半期純利益)	354	221	-133	-37.7%
(売上高比率)	14.6%	8.0%		
包括利益	-40	564	605	-

14/3期 2Q予想	増減率	14/3期 通期予想	増減率
5,670	18.9%	11,700	16.3%
1,050	25.6%	2,120	16.5%
830	-6.1%	1,700	10.5%
14.6%		14.5%	
830	-8.1%	1,700	8.2%
14.6%		14.5%	
520	-9.4%	1,100	32.8%
9.2%		9.4%	

2. 地域別売上高・営業利益

(億円)

外部売上高		増減			
		13/3期 1Q	14/3期 1Q	増減	増減率
外部売上高	日本 (構成比)	2,432 1,377 56.6%	2,758 1,303 47.3%	326 -73	13.4% -5.4%
	米州 (構成比)	464 19.1%	690 25.0%	225	48.4%
	欧州 (構成比)	490 20.2%	625 22.7%	134	27.4%
	アジア・オセアニア (構成比)	99 4.1%	139 5.1%	40	40.5%
	営業利益	528	385	-143	-27.1%
営業利益	日本 (構成比)	238 45.1%	163 42.4%	-75	-31.5%
	米州 (構成比)	58 11.0%	51 13.4%	-6	-11.1%
	欧州 (構成比)	189 35.8%	217 56.5%	28	15.1%
	アジア・オセアニア (構成比)	16 3.1%	35 9.1%	18	112.6%
	消去または全社	26	-83	-109	

注1: 売上元会社の所在地を元に集計。

注2: 欧州には、中近東・アフリカを含む。

14/3期 2Q予想	増減率	14/3期 通期予想	増減率
5,670	18.9%	11,700	16.3%
2,798	3.9%	5,825	4.5%
49.4%		49.8%	
1,345	43.7%	2,672	28.0%
23.7%		22.8%	
1,235	32.4%	2,606	32.7%
21.8%		22.3%	
289	42.3%	595	38.7%
5.1%		5.1%	
830	-6.1%	1,700	10.5%

3. 為替レート の状況

	13/3期 1Q	14/3期 1Q	13/3 期末	13/6 期末
円/USD	80	99	94	99
円/EUR	103	129	121	129

* 為替レートの変動の影響により、当第1四半期において売上高で283億円の増収、営業利益においては6億円の減益の影響がありました。

14/3期 2Q予想	14/3期 通期予想
100	100
130	130

4. 研究開発費 の状況

(億円)

	13/3期 1Q	14/3期 1Q	増減	増減率
研究開発費 (対売上高比率)	428 17.6%	520 18.9%	91	21.4%

5. 減価償却費 の状況

(億円)

減価償却費(有形)	13/3期 1Q	14/3期 1Q	増減	増減率
連結	40	54	13	33.1%
減価償却費(無形)	13/3期 1Q	14/3期 1Q	増減	増減率
連結	69	94	24	35.1%

※のれん償却額(上記 減価償却費(無形)には含まず)

Agensys

OSI

58
-
58

6. 主要製品の売上高

1) グローバル製品

(億円)

	13/3期 1Q	14/3期 1Q	増減	増減率
プログラフ	397	442	45	11.5%
自社販売計	386	430	44	11.5%
国内(グラセプター含む)	124	125	1	1.2%
米州	75	71	-4	-5.3%
欧州	141	172	31	22.2%
内、アドバグラフ	42	56	13	32.4%
アジア・オセアニア	44	60	15	34.6%
輸出外部売上	11	12	1	11.8%
ハルナール	138	153	14	10.8%
自社販売計	129	139	10	8.0%
国内	61	51	-9	-16.0%
欧州	40	50	10	26.3%
アジア・オセアニア	25	35	9	37.5%
バルク・ロイヤリティ等	8	13	4	52.2%
ベシケア	267	317	50	18.8%
国内	78	70	-8	-10.7%
米州	106	134	28	26.5%
欧州	76	102	26	34.7%
アジア・オセアニア	5	9	3	57.6%
ベタニス/ミラベリック/ベットミガ	6	46	40	656.7%
国内	6	23	17	286.3%
米州	-	21	21	-
欧州	-	1	1	-
ファンガード/マイカミン	73	83	9	13.3%
国内	32	28	-4	-14.7%
米州	22	28	5	23.9%
欧州	12	20	7	57.2%
アジア・オセアニア	5	7	1	37.1%
プロトピック	44	61	17	39.0%
国内	10	9	-0	-8.6%
米州	17	28	11	67.3%
欧州	12	16	4	36.7%
アジア・オセアニア	4	6	2	51.2%
XTANDI	-	85	85	-
米国	-	81	81	-
米国以外	-	3	3	-
内、米州(米国以外)	-	0	0	-
内、欧州*	-	3	3	-
エリガード	36	46	10	27.3%
欧州	36	46	10	27.3%
アジア・オセアニア	-	0	0	-

*フランスでの"Temporary authorization for use"に伴う売上を含む。

注1: 個別製品の売上高のうち、国内売上高の開示は仕切面ベース。

注2: 欧州には、中近東・アフリカを含む。

	14/3期 通期予想	増減率
	1,823	12.7%
	1,777	13.0%
	534	8.1%
	291	-7.4%
	689	19.9%
	262	38.6%
	46	5.1%
	586	8.6%
	546	9.2%
	214	-6.7%
	177	15.0%
	144	32.6%
	39	1.1%
	1,317	19.8%
	324	8.8%
	535	14.4%
	408	35.7%
	46	56.2%
	229	229.9%
	109	107.0%
	102	529.3%
	16	-
	372	21.3%
	132	2.5%
	110	16.1%
	91	53.0%
	38	65.0%
	232	30.0%
	36	3.6%
	106	34.5%
	61	33.1%
	26	55.4%
	400	227.7%
	201	34.7%

(億円)

14/3期 通期予想	増減率
534	8.1%
214	-6.7%
324	8.8%
109	107.0%
132	2.5%
36	3.6%

△ 陽謀陰謀 △

651	-7.8%
1,006	12.3%
273	-9.6%
298	-7.3%
229	-19.6%
341	18.7%
65	-8.3%
82	-4.9%
485	29.8%
138	12.2%
175	64.7%
356	28.5%
72	18.0%
20	269.8%
31	383.5%
5,673	5.9%

1000000

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

14/3期 通期予想	増減率
508	-4.2%
68	8.6%

4) 欧米地域の売上高の状況(現地通貨)

米州 売上高	単位: M\$			
	13/3期 1Q	14/3期 1Q	増減	増減率
プログラフ	579	698	119	20.5%
スキャン※	94	72	-21	-23.1%
内、レキスキャン	163	173	10	6.2%
アンビゾンム	145	159	14	9.8%
プロトピック	16	19	2	17.6%
ベシケア	21	29	7	35.9%
ミラベトリック	132	135	3	2.7%
マイカミン	-	21	21	-
タルセバ	28	28	0	0.6%
米国	114	123	8	7.4%
米国以外	71	82	10	15.2%
XTANDI	43	40	-2	-5.3%
米国 (米国以外)	-	82	82	-
米州 (米国以外)	-	82	82	-
	-	0	0	-

※アデノスキャンとレキスキャンの合算

欧州 売上高	単位: M€			
	13/3期 1Q	14/3期 1Q	増減	増減率
ハルナール	477	485	7	1.7%
自販 計	47	49	2	4.5%
内、カプセル	39	39	0	0.8%
内、OCAS	17	17	0	4.2%
バルクロイヤリティ	22	21	-0	-1.9%
プログラフ	8	10	1	21.4%
自販 計	147	143	-4	-3.2%
内、アドバグラフ	137	133	-3	-2.5%
輸出外都売上	41	43	2	5.7%
ベシケア	10	9	-1	-11.4%
ベットミガ	74	79	5	7.5%
プロトピック	-	1	1	-
マイカミン	11	12	1	9.1%
エリガード	12	15	3	25.5%
キューテンザ	35	36	0	1.6%
XTANDI*	1	2	0	31.8%
	-	2	2	-

*フランスでの“Temporary authorization for use”に伴う売上を含む。

注: 欧州には、中近東・アフリカを含む。

14/3期 通期予想	増減率
2,672	6.4%
291	-23.1%
508	-20.4%
68	-9.7%
106	11.8%
535	-4.9%
102	423.0%
110	-3.5%
400	172.3%

7. 連結貸借対照表

(億円:億円未満切捨て表示)

科目	2013年3月末	2013年6月末	増減
	金額	金額	
資産合計	14,455	14,710	255
流動資産	8,271	8,460	188
現金及び預金	2,338	2,345	7
受取手形及び売掛金	2,860	2,856	-4
有価証券	788	857	69
たな卸資産	1,281	1,386	104
その他	1,021	1,035	13
貸倒引当金	-19	-20	-1
固定資産	6,183	6,249	66
有形固定資産	2,184	2,181	-3
無形固定資産	2,948	2,992	44
のれん	959	991	31
特許権	1,380	1,404	24
その他	607	596	-11
投資その他の資産	1,050	1,075	25
投資有価証券	616	648	32
その他	434	427	-7
貸倒引当金	-0	-0	0

(億円:億円未満切捨て表示)

科目	2013年3月末	2013年6月末	増減
	金額	金額	
負債・純資産合計	14,455	14,710	255
負債合計	3,835	3,817	-17
流動負債	3,135	3,171	36
支払手形及び買掛金	1,028	1,066	38
引当金	44	41	-3
その他	2,062	2,063	1
固定負債	699	646	-53
退職給付引当金	182	181	-0
その他	517	464	-52
純資産合計	10,620	10,892	272
資本金	1,030	1,030	-
資本剰余金	1,768	1,768	-
利益剰余金	9,175	8,629	-545
自己株式	-722	-248	474
その他有価証券評価差額金	159	186	26
為替換算調整勘定	-809	-492	316
新株予約権	19	19	0

1. グローバル開発品

(1) 承認

開発コード・一般名	製品名 (承認時期)	薬効/作用機序	対象疾患	地域	剤形	自社/導入	備考
エルロチニブ	タルセバ (2013年5月)	HER1/EGFR チロシンキナーゼ 阻害剤	既承認の診断法で 確認されたEGFR遺伝子 変異を有する転移性の 非小細胞肺癌に 対する一次治療	米国	経口	自社 [Roche/ Genentechと 共同開発]	効能追加
FK506 タクロリムス	プログラフ (2013年6月)	免疫抑制剤	多発性筋炎・ 皮膚筋炎に合併する 間質性肺炎	日本	経口	自社	効能追加
	アスタグ ラフXL (2013年7月)		成人腎臓移植患者に おける拒絶反応の抑制 (徐放性製剤)	米国	経口		剤形追加
MDV3100 エンザルタミド	XTANDI (2013年6月)	アンドロゲン 受容体阻害剤	ドクタールによる 化学療法施行歴を有する 転移性去勢抵抗性 前立腺がん	欧州	経口	Medivation	
FK463 ミカファンギン	マイカミン (2013年6月)	カンディン系 抗真菌剤	生後4カ月以上の 小児患者における カンジダ血症、 急性播種性カンジダ症、 カンジダ腹膜炎・膿瘍、 食道カンジダ症の治療 および造血幹細胞 移植患者の カンジダ感染症予防	米国	注射	自社	効能追加

(2) 申請中(最も開発の進んでいる地域のフェーズ)

開発コード・一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/導入	備考
MDV3100 エンザルタミド	アンドロゲン受容体 阻害剤	前立腺がん	日本 申請 (2013年5月)	経口	Medivation	
		前立腺がん (化学療法未治療ほか)	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III アジア P-III			効能追加
		乳がん	米国/欧州 P-II			効能追加

(3) P-Ⅲ～P-Ⅱ（最も開発の進んでいる地域のフェーズ）

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
エルロニブ [*]	HER1/EGFR チロシンキナーゼ 阻害剤	非小細胞肺癌 (アジュバント療法、 MetMabとの併用療法)、 小児上衣腫 [*]	米国 P-Ⅲ	経口	自社 [Roche/ Genentechと 共同開発]	効能追加
イザゾナゾール	アゾール系 抗真菌剤	侵襲性アスペルギルス	米国/欧州 P-Ⅲ	注射 経口	Basilea	
		カンジダ血症/侵襲性カンジダ症	米国/欧州 P-Ⅲ			
ASP0113 (VCL-CB01)	サイトメガウイルス DNAワクチン	造血細胞移植時の サイトメガウイルス感染抑制	米国/欧州 P-Ⅲ 日本 P-Ⅱ	注射	Vical	
		臓器移植時の サイトメガウイルス感染抑制	米国/欧州 P-Ⅱ			
YM905 リフィナシ	ムスカリンM ₃ 受容体拮抗剤	小児の 神経因性膀胱と過活動膀胱	米国/欧州 P-Ⅲ	経口	自社	効能追加
EB178 リフィナシ/ ミラベグロン	リフィナシと ミラベグロンの 併用療法	過活動膀胱における 尿意切迫感、頻尿 及び切迫性尿失禁	欧州/米国/ アジア P-Ⅲ	経口	自社	
ASP1517 (FG-4592)	HIF安定化剤	慢性腎疾患（保存期および 透析期）に伴う貧血	欧州 P-Ⅲ 日本 P-Ⅱ	経口	FibroGen	
YM311 (FG-2216)	HIF安定化剤	腎性貧血	欧州 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	経口	FibroGen	
ASP4130 ベキサニブ [*]	血管内皮 細胞増殖因子 (VEGF) 受容体1,2,3 阻害剤	大腸がん、乳がん	米国/欧州 P-Ⅱ	経口	AVEO	
ASP7487 (OSI-906) リンチニブ [*]	IGF-1R/IR チロシンキナーゼ 阻害剤	卵巣がん、非小細胞肺癌	米国 P-Ⅱ	経口	自社	
ASP015K	JAK阻害剤	関節リウマチ	日本 P-Ⅱ (米国/欧州 P-Ⅱ ^{**})	経口	自社	
ASKP1240	抗CD40抗体	臓器移植における 拒絶反応の抑制	米国 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	注射	協和発酵 キリン	
ASP3652	求心性神経活動 抑制	膀胱痛症候群/ 間質性膀胱炎	欧州 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	経口	自社	
ASP1707	GnRH受容体 アンタゴニスト	子宮内膜症	欧州/日本 P-Ⅱ	経口	自社	
		前立腺がん	欧州 P-Ⅰ			
ASP4901 (AKP-002)	PDE9阻害剤	前立腺肥大症に伴う排尿障害	日本 P-Ⅱ	経口	あすか製薬	

^{*}小児上衣腫は効能追加ではないが、FDAに試験結果を提出予定。

^{**}日本を除く全世界の開発・商業化の権利をJanssen Biotech社に導出したが、P-Ⅱ b試験をアステラスが継続して実施。

2. ローカル開発品：日本

(1) 申請中(最も開発の進んでいるフェーズ)

開発コード・ 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
YM060 ラモセトロン	5-HT ₃ 受容体 拮抗剤	男性における 下痢型過敏性腸症候群 (口腔内崩壊錠)	日本 申請 (2012年8月)	経口	自社	剤形追加
		過敏性腸症候群 女性患者	日本 P-Ⅲ			効能追加
ミダゾラム	ベンゾジアゼピン系 催眠鎮静剤	歯科・口腔外科領域における 意識下鎮静	日本 申請 (2013年2月)	注射	Roche	効能追加
ASP1941 イプラカリフロジン	SGLT2阻害剤	2型糖尿病	日本 申請 (2013年3月)	経口	自社 (寿製薬と 共同開発)	

(2) P-Ⅲ～P-Ⅱ

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
YM533 ペラゴロスト ナトリウム	プロスタサイクリン 受容体刺激剤	慢性腎不全 (原発性・腎硬化)	日本/アジア P-Ⅲ	経口	東レ	効能追加 剤形追加
FK949E クエチアピン	セロトニン・ドパミン 拮抗剤	双極性障害における うつ状態	日本 P-Ⅲ	経口	AstraZeneca	効能追加 剤形追加
		大うつ病性障害	日本 P-Ⅱ			
セルトリス マブ ペゴール	PEG化 抗TNF- α 抗体	メトトレキサート未治療の関節リウマチ	日本 P-Ⅲ	注射	UCB	効能追加
ASP1585 (AMG223) ヒキサロマー	アミン機能性 ポリマー	保存期慢性腎不全患者に おける高リン血症	日本 P-Ⅲ	経口	Ilypsa/ Amgen	効能追加
ナテグ リニド	速効・短時間型 インスリン分泌促進剤	2型糖尿病 DPP-4阻害剤との併用療法	日本 P-Ⅲ	経口	味の素製薬	効能追加
ASP3550 デガレリクス	GnRH受容体 アンタゴニスト	前立腺がん (3ヶ月製剤)	日本 P-Ⅲ	注射	Ferring	剤形追加
AMG 785 ロモソスマブ	抗スクレロシン抗体	骨粗鬆症	日本 P-Ⅲ	注射	Amgen [アステラス・ アムジェンと 共同開発]	
ASP7374	インフルエンザ ワクチン	季節性インフルエンザ の予防	日本 P-Ⅲ	注射	UMNファーマ	
ASP7373	インフルエンザ ワクチン	インフルエンザ (H5N1)の予防	日本 P-Ⅱ	注射	UMNファーマ	
ASP0456 リクホト	C型リガンド 受容体作動薬	過敏性腸症候群	日本 P-Ⅱ	経口	Ironwood	
AMG 145	抗PCSK-9抗体	高脂血症	日本 P-Ⅱ	注射	Amgen [アステラス・ アムジェンと 共同開発]	

3. ローカル開発品：欧州

(1) 承認

開発コード 一般名	製品名 (承認時期)	薬効/作用機序	対象疾患	地域	剤形	自社/ 導入	備考
EC905 ソリフェニン/ タムロシン	ヘソムニ (2013年5月)	ソリフェニンと タムロシンの 合剤	単剤治療で効果不十分な、 前立腺肥大症に伴う 中等症から重症の蓄尿症状 (尿意切迫感、頻尿)と 排尿症状	欧州	経口	自社	

(2) P-Ⅲ～P-Ⅱ

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
NGX-4010 カブサイシン	TRPV1作動薬	糖尿病性神経因性疼痛	欧州 P-Ⅲ	貼付	NeurogesX	効能追加

4. P- I

開発コード・ 一般名	対象疾患	剤形	自社/導入
AGS-16M8F・ AGS-16C3F	がん (ADC技術活用)	注射	自社 (ADC技術をSeattle Geneticsから導入)
ASP0306	前立腺肥大症に伴う排尿障害	経口	自社
ASP8477	神経因性疼痛	経口	自社
ASP2408	関節リウマチ	注射	自社
ASP3026	がん	経口	自社
ASG-22ME	がん (ADC技術活用)	注射	自社 [Seattle Geneticsと 共同開発]
ASP9226	神経因性疼痛	経口	自社
ASP7991	二次性副甲状腺機能亢進症	経口	自社
ASP2409	臓器移植における 拒絶反応の抑制	注射	自社
ASP6432	前立腺肥大症に伴う排尿障害	経口	自社
ASP9853	がん	経口	自社
ASP8232	糖尿病性腎症	経口	自社
フィダキマイシン*	クロストリジウム・デフィシル 関連下痢症	経口	Optimer
ASP3662	アルツハイマー病	経口	自社
ASG-15ME	がん (ADC技術活用)	注射	自社 [Seattle Geneticsと 共同開発]
ASP2215	がん	経口	自社
ASP3325	高リン血症	経口	自社
CK-2127107	骨格筋疾患(非神経筋疾患)	経口	Cytokinetics
AMG 102 リロツムマブ	胃がん	注射	Amgen [アステラス・アムジエンと 共同開発]

*日本の開発

5. 開発中止品目

開発コード 一般名	開発段階 地域	対象疾患	理由
YM155 セパントロニウム 臭化物	米国 P- II 欧州 P- II 日本 P- I	非ホジキンリンパ腫	他の開発品との優先度等を総合的に勘案し、戦略的な観点から開発を中止。
ASG-5ME	P- I	がん (ADC技術活用)	フェーズ I 試験の結果並びに他の開発品との優先度等を総合的に勘案し、戦略的な観点から開発を中止。
ASP0777	P- I	アルツハイマー病 [認知症]	他の開発品との優先度等を総合的に勘案し、戦略的な観点から開発を中止。

【2013年5月13日 決算発表時からの変更箇所】

発売

- ・2013年2月に日本で承認されたアモキシシリンについて、リストから以下の記載を削除した。
- ・2013年3月に日本で承認されたアコチアミド [機能性ディスペプシアにおける食後膨満感、上腹部膨満感、早期満腹感] について、2013年6月に発売となったため、リストから以下の記載を削除した。

開発コード 一般名	製品名 (承認時期)	薬効/作用機序	対象疾患	地域	剤形	自社/ 導入	備考
アモキシシリン	サリリン (2013年2月)	ペニシリン系 抗生物質	プロトンポンプ阻害薬、 クラリスロマイシン又はメロニダゾールと の3剤併用によるヘリコバクター・ ピロリ感染胃炎における ヘリコバクター・ピロリの除菌療法	日本	経口	自社	効能追加
YM443 アコチアミド	アコチアミド (2013年3月)	アセチルコリン 分解酵素阻害剤	機能性ディスペプシアにおける 食後膨満感、上腹部膨満感、 早期満腹感	日本	経口	ゼリア新薬	

承認

- ・エルロチニブ [既承認の診断法で確認されたEGFR遺伝子変異を有する転移性の非小細胞肺癌に対する一次治療] について、製造販売承認を2013年5月に米国で取得したことから、承認の欄に移動した。

開発コード 一般名	製品名 (承認時期)	薬効/作用機序	対象疾患	地域	剤形	自社/ 導入	備考
エルロチニブ	タルセバ (2013年5月)	HER1/EGFR チロシナーゼ 阻害剤	既承認の診断法で 確認されたEGFR遺伝子 変異を有する転移性の 非小細胞肺癌に 対する一次治療	米国	経口	自社 [Roche/ Genentechと 共同開発]	効能追加

- ・ソリフェナシンとタムスロシンの合剤について、製造販売承認を2013年5月に欧州（オランダ）で取得したことから、承認の欄に移動した。

開発コード 一般名	製品名 (承認時期)	薬効/作用機序	対象疾患	地域	剤形	自社/ 導入	備考
EC905 ソリフェナシン/ タムスロシン	ペソム (2013年5月)	ソリフェナシンと タムスロシンの 合剤	単剤治療で効果不十分な、 前立腺肥大症に伴う 中等症から重症の蓄尿症状 (尿意切迫感、頻尿) と排尿症状	欧州	経口	自社	

- ・タクロリムス [多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎] について、製造販売承認を2013年6月に日本で取得したことから、パイプラインリストに記載した。また、徐放性製剤の剤形追加について、製造販売承認を2013年7月に米国で取得したことから、承認の欄に移動した。

開発コード 一般名	製品名 (承認時期)	薬効/作用機序	対象疾患	地域	剤形	自社/ 導入	備考
FK506 タクロリムス	プログラーフ (2013年6月)	免疫抑制剤	多発性筋炎・皮膚筋炎に 合併する間質性肺炎	日本	経口	自社	効能追加
	アタグラーフXL (2013年7月)		成人腎臓移植患者における 拒絶反応の抑制 (徐放性製剤)	米国	経口		剤形追加

- ・エンザルタミド [ドセタキセルによる化学療法施行歴を有する転移性去勢抵抗性前立腺がん] について、製造販売承認を2013年6月に欧州で取得したことから、承認の欄に移動した。

開発コード 一般名	製品名 (承認時期)	薬効/作用機序	対象疾患	地域	剤形	自社/ 導入	備考
MDV3100 エンザルタミド	XTANDI (2013年6月)	アンドロゲン受容体 阻害剤	ドセタキセルによる 化学療法施行歴を有する 転移性去勢抵抗性 前立腺がん	欧州	経口	Medivation	

- ・ミカファンギンの生後4カ月以上の小児患者に関する適応症について、製造販売承認を2013年6月に米国で取得したことから、承認の欄に移動した。

開発コード 一般名	製品名 (承認時期)	薬効/作用機序	対象疾患	地域	剤形	自社/ 導入	備考
FK463 ミカファンギン	マイカシ (2013年6月)	カンディン系 抗真菌剤	生後4カ月以上の小児患者に おけるカンジダ血症、 急性播種性カンジダ症、 カンジダ腹膜炎・膿瘍、 食道カンジダ症の 治療および造血幹細胞移植 患者のカンジダ感染症予防	米国	注射	自社	効能追加

申請中

- ・エンザルタミド [前立腺がん] について、2013年5月に日本で申請したことから、対象疾患と 開発段階・地域 の記載を変更した。また、乳がんの適応症について、米国/欧州でフェーズⅡ段階に入ったことから、開発段階・地域 の記載を変更した（下線部変更）。

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
MDV3100 エンザルタミド	アンドロゲン受容体 阻害剤	前立腺がん	日本 申請 (2013年5月)	経口	Medivation	
		前立腺がん (化学療法未治療ほか)	米国 P-Ⅲ 欧州 P-Ⅲ 日本 P-Ⅲ アジア P-Ⅲ			効能追加
		乳がん	米国/欧州 P-Ⅱ			効能追加

P-Ⅲ～P-Ⅱ

- ・ソリフェナシン/ミラベグロン [過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁] が欧州/米国/アジアでフェーズⅢ段階に入ったことから、開発段階・地域 の記載を変更した（下線部変更）。
- ・ASP4901 (AKP-002) [前立腺肥大症に伴う排尿障害] が日本でフェーズⅡ段階に入ったことから、開発段階・地域 の記載を変更した（下線部変更）。

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
EB178 ソリフェナシン/ ミラベグロン	ソリフェナシンと ミラベグロンの 併用療法	過活動膀胱における 尿意切迫感、頻尿 及び切迫性尿失禁	欧州/米国/ アジア P-Ⅲ	経口	自社	
ASP4901 (AKP-002)	PDE9阻害剤	前立腺肥大症に伴う排尿障害	日本 P-Ⅱ	経口	あすか製薬	

- ・ AMG 785 [骨粗鬆症] を、Amgen社との戦略提携によりP-Ⅲ～P-Ⅱの欄に追加した。
- ・ AMG 145 [高脂血症] を、Amgen社との戦略提携によりP-Ⅲ～P-Ⅱの欄に追加した。

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
AMG 785 ロモソマブ	抗スクリンチン抗体	骨粗鬆症	日本 P-Ⅲ	注射	Amgen [アステラス・ アムジェンと 共同開発]	
AMG 145	抗PCSK-9抗体	高脂血症	日本 P-Ⅱ	注射	Amgen [アステラス・ アムジェンと 共同開発]	

- ・ チボザニブについて、対象疾患から進行性腎細胞がんの記載を削除した。
- ・ エルロチニブについて、対象疾患から大腸がんの記載を削除した。
- ・ ASP3652について、対象疾患から慢性前立腺炎/慢性骨盤痛症候群の記載を削除した。

開発コード 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
ASP4130 ネバザニブ	血管内皮 細胞増殖因子 (VEGF) 受容体1,2,3 阻害剤	進行性腎細胞がん	米国申請 (2012年9月) 欧州 P-Ⅲ	経口	AVEO	
		大腸がん、乳がん	米国/欧州 P-Ⅱ			
エルロチニブ	HER1/EGFR チロシンキナーゼ 阻害剤	非小細胞肺癌 (アジユバント療法、 MetMAbとの併用療法)、 大腸がん、小児上衣腫*	米国 P-Ⅲ	経口	自社 [Roche/ Genentechと 共同開発]	効能追加
ASP3652	求心性神経活動 抑制	慢性前立腺炎/ 慢性骨盤痛症候群	欧州 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	経口	自社	
		膀胱痛症候群/ 間質性膀胱炎	欧州 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ			

*小児上衣腫は効能追加ではないが、FDAに試験結果を提出予定。

P-Ⅰ

- ・ ASG-15ME [がん（ADC技術活用）] をP-Ⅰの欄に追加した。
- ・ ASP2215 [がん] をP-Ⅰの欄に追加した。
- ・ ASP3325 [高リン血症] をP-Ⅰの欄に追加した。
- ・ CK-2127107 [骨格筋疾患（非神経筋疾患）] をP-Ⅰの欄に追加した。
- ・ AMG 102 [胃がん] を、Amgen社との戦略提携によりP-Ⅰの欄に追加した。

開発中止

- ・ セパントロニウム臭化物 [非ホジキンリンパ腫] (米国・欧州 フェーズⅡ、日本 フェーズⅠ) の開発を中止したため、パイプラインリストから削除した。
- ・ ASG-5ME [がん（ADC技術活用）] (フェーズⅠ) の開発を中止したため、パイプラインリストから削除した。
- ・ ASP0777 [アルツハイマー病] (フェーズⅠ) の開発を中止したため、パイプラインリストから削除した。